

学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）（大学入学共通テストを課す）

実施学部・学科名	医学部 医学科
募集人員	5人
出願要件	<p>推薦人員は、一つの学校から1人とします。</p> <p>ただし、熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県の学校については、2人以内とします。</p> <p>なお、学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）及び（熊本みらい医療枠）との併願はできません。</p> <p>志望学科への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの</p> <p>1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年度中に卒業を認められる者を含む。）</p> <p>② 高等専門学校の第3学年を令和4年3月修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月修了見込みの者（令和3年度中に修了を認められる者を含む。）</p> <p>2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が4.0以上であって、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>3) 令和4年度大学入学共通テストの5教科7科目以上（選抜方法等欄参照）を受験した者</p> <p>4) 合格した場合、入学することを確約できる者</p>
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（800字程度）及び面接の成績により総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</p> <p>国：国語……1</p> <p>地歴：世B、日B、地理B</p> <p>公民：現社、倫、政経、倫・政経 } から1</p> <p>数：数Ⅰ・数A……1</p> <p>数Ⅱ・数B、簿、情報から1 } 2</p> <p>理：物、化、生から2</p> <p>外：英、独、仏、中、韓から1</p> <p style="text-align: right;">〔5教科7科目〕</p> <p>（注）「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p>
出願期間	令和4年1月17日（月）～令和4年1月21日（金）
選抜期日	令和4年2月5日（土）
合格発表日	令和4年2月9日（水）
その他	

学校推薦型選抜Ⅱ（熊本みらい医療枠）（大学入学共通テストを課す）

実施学部・学科名	医学部 医学科																					
募集人員	10人																					
出願要件	<p>熊本県内の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から4人以内とします。                  熊本県外の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から3人以内とし、出願時において保護者が3年以上継続して熊本県内に在住（住民票登録）している者を対象とします。</p> <p>なお、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）及び（地域枠）との併願はできません。                  志望学科への入学の意志が強固な者で、次の1)～4)の全ての要件を満たすもの</p> <p>1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年度中に卒業を認められる者を含む。）</p> <p>② 高等専門学校の第3学年を令和4年3月修了見込みの者</p> <p>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月修了見込みの者（令和3年度中に修了を認められる者を含む。）</p> <p>2) 人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>3) 令和4年度大学入学共通テストの5教科7科目以上（選抜方法等欄参照）を受験した者</p> <p>4) 合格した場合、卒業後の初期臨床研修修了後、熊本大学大学院医学教育部への進学又は熊本大学病院専門研修プログラムの履修（熊本大学病院及びその関連施設での勤務）が確約できる者</p>																					
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（800字程度）及び面接の成績により総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>国</td> <td>: 国語……1</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>: 世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>: 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>: 数I・数A……1</td> <td rowspan="2" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">2</td> </tr> <tr> <td>: 数II・数B, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>: 物, 化, 生から2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>: 英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> <p>(注) 「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p>	国	: 国語……1	}	から1	地歴	: 世B, 日B, 地理B	公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	: 数I・数A……1	}	2	: 数II・数B, 簿, 情報から1	理	: 物, 化, 生から2			外	: 英, 独, 仏, 中, 韓から1		
国	: 国語……1	}	から1																			
地歴	: 世B, 日B, 地理B																					
公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経																					
数	: 数I・数A……1	}	2																			
	: 数II・数B, 簿, 情報から1																					
理	: 物, 化, 生から2																					
外	: 英, 独, 仏, 中, 韓から1																					
出願期間	令和4年1月17日（月）～令和4年1月21日（金）																					
選抜期日	令和4年2月5日（土）																					
合格発表日	令和4年2月9日（水）																					
その他																						

学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）（大学入学共通テストを課す）

実施学部・学科名	医学部 医学科																	
募集人員	8人																	
出願要件	<p>熊本県内の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から4人以内とします。          熊本県外の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から3人以内とし、出願時において保護者が3年以上継続して熊本県内に在住（住民票登録）している者を対象とします。</p> <p>なお、学校推薦型選抜Ⅱ（一般枠）及び（熊本みらい医療枠）との併願はできません。</p> <p>志望学科への入学の意志が強固、かつ将来、熊本県の地域医療を目指す者で、次の1)～4)までの全ての要件を満たすもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）又は中等教育学校を令和2年3月以降に卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者</li> <li>2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が4.0以上であって、将来、熊本県の地域医療において中心的役割を担う人材であると判断でき、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者</li> <li>3) 令和4年度大学入学共通テストの5教科7科目以上（選抜方法等欄参照）を受験した者</li> <li>4) 合格した場合、熊本県医師修学資金の貸与を受け入学し、在学中は継続して貸与を受けることを確約できる者（注）          （注）卒業後の決められた一定期間、熊本県知事が指定する地域の病院等で勤務していただきます。</li> </ol>																	
選抜方法等	<p>大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書（地域医療に対する抱負や意見について800字程度）及び面接の成績により総合的に判定します。</p> <p>大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>国</td> <td>: 国語……1</td> <td rowspan="3">} から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>: 世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>: 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">数</td> <td>: 数I・数A……1</td> <td rowspan="2">} 2</td> </tr> <tr> <td>: 数II・数B, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>: 物, 化, 生から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>: 英, 独, 仏, 中, 韓から1</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> <p>（注）「簿」及び「情報」を選択解答できる者は、出願要件となる教育施設においてこれらの科目を履修した者に限ります。</p>	国	: 国語……1	} から1	地歴	: 世B, 日B, 地理B	公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	: 数I・数A……1	} 2	: 数II・数B, 簿, 情報から1	理	: 物, 化, 生から2		外	: 英, 独, 仏, 中, 韓から1	
国	: 国語……1	} から1																
地歴	: 世B, 日B, 地理B																	
公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経																	
数	: 数I・数A……1	} 2																
	: 数II・数B, 簿, 情報から1																	
理	: 物, 化, 生から2																	
外	: 英, 独, 仏, 中, 韓から1																	
出願期間	令和4年1月17日（月）～令和4年1月21日（金）																	
選抜期日	令和4年2月5日（土）																	
合格発表日	令和4年2月10日（木）																	
その他																		

## 熊本大学医学部医学科モデルカリキュラム

### 【1年次】

区分	授業科目	単位	強化する事項
専門基礎科目	医学情報処理	2	
	早期臨床体験実習 I	1.5	これまでの地域医療機関や介護老人保健施設の他に、保健所の見学を実施し、地域保健医療計画、衛生行政等の熊本県における地域保健を学ばせる。また、新たな実習の受入先として、特色のある地域医療機関を開拓する。
	分子細胞生物学 I	2	
	医学概論	1	
	最新医学セミナー	2	
	行動科学 I	1	
基礎医学科目	分子遺伝学	1.5	
	人体発生・肉眼解剖学	3	
	生化学I	1.5	
	生化学II	1.5	
	生理学I	3	

### 【2年次】

専門基礎科目	早期臨床体験実習 II	1	
	放射線基礎医学	1	
	医学英語	2	
基礎医学科目	解剖学実習	4	
	神経解剖学	2	
	組織学	4	
	生理学II	3	
	免疫学	2	
	感染防御学	2	
	微生物学(寄生虫病学を含む。)	3	
	薬理学	4.5	
	病理学I	2	
病理学II	3.5		

【3年次】

専門基礎科目	早期臨床体験実習Ⅲ	1	地域医療を身近に感じられる地域の中核病院や熊本市内・市外の地域医療機関(診療所等)での体験実習を通して、熊本県における地域医療の現状、地域医療に求められる医師像、地域医療への関心を醸成する。
	行動科学Ⅱ	1	
	医療と情報	1	
学基礎医 科目目	基礎一般実習コース	6	
	基礎演習	10	
臨床医学科目	呼吸器内科学	2.5	
	消化器内科学	2.5	
	血液・膠原病・内科学	3.5	
	腎臓内科学	2.5	
	代謝・内分泌内科学	3.5	
	循環器内科学	2.5	
	心臓血管外科学	1	
	呼吸器外科学	1	
	消化器外科学	3.5	
	乳腺・内分泌外科学	1	
	泌尿器科学	1	
	産科婦人科学	2	
	皮膚科学	2.5	
	整形外科学	2.5	
	歯科口腔外科学	1	
	耳鼻咽喉科学	2.5	
	眼科学	1	
	脳神経内科学	2.5	
	神経精神医学	2.5	
	脳神経外科学	2.5	
	画像診断学	1	
	放射線腫瘍学	1	
	臨床検査医学	1.5	

**【4年次】**

専門基礎科	医療と社会	1	地域医療に求められる医師としての役割と機能などの値域医療の在り方の他に、熊本県における医師の偏在(地域及び診療科)の現状とその理由を学ばせ、地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解させる。
基礎医学科目	公衆衛生学	4	地域における福祉施設の体系と機能、介護保険法制定後の老人福祉・医療施設の現状、地域における健康福祉システム、地域保健・保健所の機能に係る講義について、個別の対面的実習を取り入れ教育を強化する。また、保健師を非常勤講師として招聘し、地域の保健師活動の現状と課題について学ばせる。
	法医学	3	
	生命倫理学	2	
臨床医学科目	小児科学(小児発達学を含む。)	3	
	小児外科学	1	
	麻酔科学	2.5	
	総合診療学	1	
	腫瘍医学	2	
	救急医学	1	
	臨床腫瘍学	1	
	臨床実習入門	4	
	チュートリアル実習(総合講義を含む。)	2.5	
	臨床形態診断学	1	
漢方医学	1		

**【5年次】**

臨床医学科目	臨床実習	26	地域開業診療所に学生を派遣し、地域のプライマリ・ケアの体験を充実させ、もって地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解させ、医師としてどのような実践能力を身につけるべきかを学修させる。
	特別臨床実習	38	地域医療を志す医師、研修医及び医学生に対し実践教育の場を提供することを目的に、地域医療機関の中核である2施設に開設した教育拠点において、地域医療の実際を体験し、医師としてどのような態度・能力が求められているかを学修させる。

**【6年次】**

臨床医学科目	特別臨床実習	38	地域医療を志す医師、研修医及び医学生に対し実践教育の場を提供することを目的に、地域医療機関の中核である2施設に開設した教育拠点において、地域医療の実際を体験し、医師としてどのような態度・能力が求められているかを学修させる。
--------	--------	----	---

令和4年度  
医学部入学定員増員計画熊大経企第9号  
令和3年8月25日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人熊本大学長  
小川久雄

「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について（令和3年8月16日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

&lt;連絡先&gt;

責任者連絡先	職名・氏名	経営企画本部課長・松久保 大作
	TEL	096-342-3971
	FAX	096-342-3007
	E-mail	sgo-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp

大学名	国公立
熊本大学	国立

1. 現在(令和3年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	0	0	680

(収容定員計算用)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
(ア)入学定員	115	115	115	115	110	110	680
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	115	115	115	115	110	110	680

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和4年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
105	0	0	630

(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	105	105	105	105	105	105	630
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	105	105	105	105	105	105	630
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

3. 令和4年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	0	0	635

(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	110	105	105	105	105	105	635
(イ)2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	105	105	105	105	105	635
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

増員希望人数 5

(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	5
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	0
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	0
計	5

# 1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 5

## (1) 対象都道府県名及び増員希望人数

大学が所在する都道府県	都道府県名	増員希望人数
大学所在地以外の都道府県	熊本県	5
計		5

※「大学所在地以外の都道府県」が「都道府県」未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

## (2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R2地域枠定員 (※1)	R2貸与者数 (※2)	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R2とR3の貸与 者数のうち多い 方の数
熊本県	5	5	5	5	5
					0
					0
					0
					0
計	5	5	5	5	5

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6 都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和4年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和2年度に実施した地域枠学生(令和3年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考
熊本県医師修学資金地域枠(学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠))	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	5	5	大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書(地域医療に対する抱負や意見)について800字程度)及び面接の成績により総合的に判定します。	熊本県内の高等学校から募集し、推薦できるのは一つの学校から2人以内とします。 なお、学校推薦型選抜Ⅱ(一般枠)との併願はできません。 推薦要件は、志望学科への入学の意欲が強く、かつ将来、熊本県の地域医療を目指す者で、次の1)~4)までの全ての要件を満たすもの 1) 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を令和2年3月以降に卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者 2) 上記1)の教育施設における学習成績の状況が4.0以上であって、将来、熊本県の地域医療において中心的役割を担う人材であると判断でき、人物・能力及び適性等について当該学校長が責任をもって推薦できる者 3) 令和3年度大学入学共通テストの5教科7科目以上(「(3)選抜方法」参照)を受験した者	H22	
合計			5	5				

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和3年度に実施する地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考

熊本県医師修学資金地域枠(学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠))	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	8	5	<p>大学入学共通テスト、推薦書、調査書、志望理由書(地域医療に対する抱負や意見について800字程度)及び面接の成績により総合的に判定します。</p> <p>熊本県内の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から4人以内とします。</p> <p>熊本県外の高等学校が推薦できる人数は、一つの学校から3人以上とし、出願時において保護者が3年以上継続して熊本県内に在住(住民票登録)している者を対象とします。</p> <p>なお、学校推薦型選抜Ⅱ(一般枠)及び(熊本みらい医療枠)との併願はできません。</p> <p>志望学科への入学の意志が強く、かつ将来、熊本県の地域医療を目指す者で、次の1)～4)までの全ての要件を満たすもの</p> <p>1) 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。)又は中等教育学校を令和2年3月以降に卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者</p> <p>2) 上記1)の教育施設における全体の学習成績の状況が4.0以上であって、  <small>※1) 熊本県の地域医療において中</small></p>	H22	
合計			8	5			

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。  
 ※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒業後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和4年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次には、必修科目「早期臨床体験実習Ⅰ」にて、療養型病院など地域の医療・介護・福祉の現場で患者や住民の側から医療・福祉をみる体験を積み、患者と接する態度を学び、3年次には、必修科目「早期臨床体験実習Ⅲ」にて、熊本県内各地の診療所等での体験実習を通して、地域医療への理解を深めている。また、平成30年度より「特別臨床実習」の地域医療実習を必修化し、地域医療に関する教育を充実させている。

(参考:記入例)  
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■を新たに開始するなど、～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成21年度から地域枠による増員を開始し、熊本県医師修学資金地域枠の周知、地域枠学生へのキャリア形成支援などの取組を行った。令和3年度までに87名の地域枠学生を確保し、そのうち32名が現在、臨床研修を終え、へき地等医療機関を中心に、県内の各地域で医師として地域医療に貢献している。

(参考:記入例)

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行った。令和3年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修/選択の別		講義/実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1	早期臨床体験実習Ⅰ	全員	必修	必修	実習	1.5	H27
2	早期臨床体験実習Ⅱ	全員	必修	必修	実習	1	H28
3	早期臨床体験実習Ⅲ	全員	必修	必修	実習	1	H29
4	医療と社会	全員	必修	必修	講義	1	R1
4	公衆衛生学	全員	必修	必修	講義	4	H21以前
5.6	特別臨床実習	全員	必修	必修	実習	38	H30

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみ)の場合は、対象者を「地域枠学生」、必修/選択の別を「選択」とご記載ください。 ※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例:○週間)	プログラムの概要(1~2行程度)	開始年度
全学年	夏季地域医療特別実習	全員	熊本県寄附講座「熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学 講座」が主体として開催	2日間	熊本県医師修学資金被貸与者と自治医科大学学生(熊本出身)が協力し、聞き取り調査等により、地域の問題点を探り出す。	H21以前
全学年	地域医療ゼミ	全員	熊本県寄附講座「熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学 講座」が主体として開催	毎月1回開催	地域医療に関して、教員によるレクチャー、学生による発表会を実施。	H21以前

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和3年度以前から継続する取組を含む)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

## 2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」(平成元年法律第64号)第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額 (例:200,000)		返還免除要件	選抜方法	診療科の限定の有無	(診療科の限定がある場合)その診療科名	備考
			月額	総貸与額					
熊本県	8	新入生	75,000	8,896,800	(1)大学卒業後、2年以内に医師免許を取得すること。 (2)医師免許取得後、直ちに条例で定める病院で臨床研修に従事すること。 (3)臨床研修終了後、直ちに知事が指定する病院等に勤務すること。 (4)返還免除に必要な指定病院等での勤務期間(貸与期間の1.5倍に相当する期間)を満たすこと。	○	×	学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠)受験者の面接(医学科教員3名)後、引き続き熊本県医師修学資金面接(熊本県職員及び熊本県地域医療支援機構(熊本大学病院地域医療支援センター)職員)を実施。面接終了後、熊本県医師修学資金面接合格者のうち、地域枠)合格者の上位8名を対象学生とする。	

(※1)○の場合は、備考欄に詳細をご記入ください。  
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。(例:在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援)(1~2行程度)

取組の名称	取組の概要(1~2行程度)	開始年度
熊本県地域医療支援機構(熊本大学病院地域医療支援センター)及び熊本県寄附講座「熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座」による取組	熊本県医師修学資金被貸与者への個人面談実施(年1回以上)、地域医療ゼミナール・講演会の開催、夏季地域医療特別実習の実施等	H21以前

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

## 3. その他